

シテイセールスについて



新原 春二

質問 都市ブランドの構築について、発信していく、その営業活動をどのようにするかが重要である。シテイセールスのあり方について具体的にどのように展開されるのか。また、売り込むものは、観光をはじめ商工業、農業、教育、文化、スポーツがあるが、これらをまとめるセールス課の設置をしてはどうか。

答弁 シテイセールスの目的は、本市を売り込み、本市の特色や魅力を効果的にPRすることにより知名度や好感度を上げていくこと。ホームページの開設、特産品等へのロゴマークの活用、トップセールスによる情報発信をしたい。本年四月一日から、企画政策課内に定住促進とブランド推進を含めたシテイセールスを担当する専門グループを設置したい。

総務省提案の「集落支援員制度」について



江口 是彦

質問 ①本市の地域集落の現状と「集落再生活動の支援」について。②総務省は集落を巡回し、地域活性化策等を助言する「集落支援員」制度を導入し、当該市町村に特別交付税を配分する。雇用条件や仕事の中身などは市町村に任される、極めて自由度の高い画期的な施策に思える。この制度を導入して、集落に元気を与えてはどうか。

答弁 過疎地域やゴールド集落に対する市民の意見が多く寄せられており、諸課題の克服に道筋をつけていく必要がある。活力と豊かさを感じる地域づくりを実現するため、四つの取組を柱とする薩摩川内版地域力創造プログラムを策定し、総合的、戦略的に取り組むたい。集落支援員制度と地区コミュニティ協議会制度は、活動内容が重なる部分が多く、集落支援員制度の導入は、更に検討する必要がある。薩摩川内版地域力創造プログラムを取組で、地区を限定の制度活用を検討したい。

今後の景気及びに雇用対策について



宮脇 秀隆

質問 昨年のアメリカの金融危機に端を発した経済不況により我が国においても企業の人員削減等大変厳しい状況にあり、本市においても影響が出始めているため、雇用の促進と経済浮揚を図る必要から、今後、普通建設事業費を増額補正する考えはないか。

答弁 平成二十年度は、十二月補正で十五カ月執行予算一億円を措置し、三月補正で国の二次補正関連予算である地域活性化生活対策臨時交付金事業として、十一億七千八百三十一万円を措置した。当初予算では、税収等の減に伴う財源不足を基金繰入れ等で補い、結果、三月補正を含め前年比十六・二%、八億八千万円を増額した。現時点における更なる市単独での財政出動については、財源的に厳しく、地域経済や雇用状況等を見極めながら慎重に判断したいと考えている。

小中学校二学期制について



瀬尾 和敬

質問 新学習指導要領によれば、平成二十一年度から、算数(数学)理科などの授業が増える。本市としては、全市を挙げて小中一貫教育に取り組むが、ゆとりある授業時数の確保のために、二学期制採用は有効である。①二学期制のメリット・デメリットをどう考えるか。②本市として、二学期制を採用する考えはないか。

答弁 二学期制は、教師が教育業務に追われることが少なくなり、教師がゆとりを持って授業に取り組み、教師と子どもが向き合う時間の確保につながり、授業も充実して学力の定着、向上が期待できる。また、始業式、終業式を行う日が一回分ずつ減ることで、学期末や学期始めの行事を精選でき、年間最低でも十時間から三十分程度程度の授業時数の増加が見込める。デメリットとして、三学期制から二学期制に変わることに見学・生徒や保護者がなじみにくいのではないかと。通知表の発行が二回に減ることやテスト回数減